

世帯と人口

(1 月 1 日現在)

世 帯 44,789 (+ 91)
人 口 120,003人 (+166)
男 61,138人 (+ 46)
女 58,865人 (+120)

広報 えびな

編集・発行

海老名市役所 広報広聴課

〒243-0492

神奈川県海老名市勝瀬175番地の 1

☎ (046) 231・2111

URL <http://www.city.ebina.kanagawa.jp>

*この広報は再生紙を使用しています。

閑静な家並みが続く浜田町。ジョギングや犬の散歩で利用する人も多い



えびな模様…^{はま だ ちょう}浜田町から

“きれい”が習慣に

住民の努力で清楚な街並み

市内で一番新しい地区浜田町。個性的な家々や幅の広い歩道、フタナスの街路樹が、閑静な雰囲気を出します。「こみも少ない、きれい。お気に入りのコースになっています」と朝タジョギングや犬の散歩をする人たちにも好評です。

かつて荒地だったこの地に宅地開発が始まったのが昭和53年。市内では初めて地元地権者が加わった区画整理組合が発足し、同組合が作成した「建築協定(開発にあたって交わす約束事)」に地元の声が反映されました。その結果、全ての建物の高さは9^{メートル}、軒の高さが6・5^{メートル}以内、隣地との境界が1^{メートル}以上空けられ、広い歩道が設置されたため、現在のゆとりと落ちつきを感じさせる街並みが形成されました。

当時は、大気汚染や騒音など公害による環境悪化が騒がれていた時期。浜田町は公害もなく、東京・横浜への通勤圏ということもあって、多くの人が永住の地を求め全国各地から移り住んできました。

「せっかくきれいな環境に越してきたのだから、この環境は住んでいる我々が守らなければ。手始めに自分の敷地内は責任をもってきれいにしよう、というのが自治会発足直後の約束事だったような気がします」と開発当初から住んでいる年配の方。しかし、この住民同士の取り決めは、いつの間にか義務から習慣に変わっていったそうです。「その理由はさまざま。庭の樹木に今まで見たことのない野鳥がきたのをきっかけに、木や花を増やしていったとか、空気が良いので、ぜんそくに悩まされず庭掃除を続けているうちに健康になったとか。そんなことが続くうちに、きれいなことが当たり前になり、今度は路上のごみが気になるようになって、次第に清掃範囲が広がりました」。この習慣は、新しく転入してきた人たちにも受け継がれているそうですが、「高齢化の波は防ぎようもない。私たちのかわりに環境を守ってくれる若い人たちが、もっと来てくれるといいのですが」とも。

浜田町に住む人たちが積み重ねてきた「地区への慈しみ」によって街並みは今日も清楚で閑静なたたずまいを見せています。

浜田町アラカルト

◎人口(1 月1日現在)
1,378人
(男671人・女707人)

◎世帯
471世帯

◎面積
0.14平方^{キロメートル}
【市全面積 26.48平方^{キロメートル}】

◎地名の由来
「浜田」は、平安時代に編さんされた「延喜式兵部省」によると、相模国の駅家(役人が移動する時、馬をかえる中継所)として記載されています。正式な地名の由来は不明です。